

別紙 1 - 2 : 補助事業の内容説明

適宜、図や表（文字数に含まず）を用いて、
具体的に、わかりやすく記載してください。

1. 事業の目的及び内容

- ① 現在、事業を取り巻く環境がどうなっており、その現状との関係で、何を研究開発又は実証するのか。（※400 文字以内で記載してください。）

《記載例》

当社はこれまで、〇〇などの自動車部品等の製造を行ってきた。

今後成長が期待される次世代自動車分野において、更なる燃費性能向上のためには、車体の軽量化が必須であり、取引先自動車部品メーカーから部品の軽量化の要求が高まっている。

また、近年、取引先自動車部品メーカーは、生産拠点を海外に移転しており、〇〇などの部品の現地調達が進んでいることから、価格面で優位性のある海外の部品メーカーとの競合が起きており、これに対抗するには、より高強度で低価格な製品を製造する必要がある。

こうした現状から、〇〇を極薄化し、高強度、低価格、軽量化を実現する新たな自動車用〇〇の研究開発を行う。

ただし、〇〇を極薄化するためには、材料に△△を使用する必要があるが、△△は加工技術が確立されていないことから、精製プロセスに非常に手間がかかるなどの課題があり、自動車用途への拡大には大幅なコストダウンが必要である。

- ② 事業における数値目標及びそれを達成するために実施する内容。
（※400 文字以内で記載してください。）

事業の目標について、数値を用いて記載してください。
また、目標を達成するために実施する内容について、具体的に記載してください。

《記載例》※記載の参考一例です。

「事業の目標値（数値目標）」

- ・ 〇〇部品の軽量化（既存製品比 20%軽量化）
- ・ ◎◎加工の時間短縮（現状 3 時間→1 時間）

別紙 1 - 1「事業の目標値（数値目標）」
と同じ目標値を記載してください。

◎◎加工の時間短縮に向け、当社は〇〇に関する技術を有しているが、△△に関する知見が乏しいため、△×技術センター（公設試験研究機関）との協同により……。手法としては……。〇〇製品の軽量化を実現するため、具体的な手法として……を行い、……

2. 事業計画及び事業実施方法について

① 事業計画について

【事業スケジュール】 別紙2：事業工程表のとおり。

【事業実施体制について（協力者を含む事業参加者の役割分担、実施能力）】

事業協力者を含め、事業に参加する者と役割分担が明確にわかるように記載するとともに、研究開発や実証実験を実施するうえで必要な技術的能力を記載してください。（簡条書きと概略図の2パターンで記載してください）

《記載例》

簡条書き

(1) A技研工業(株)（実施場所：名古屋市中区三の丸〇-〇-〇）

当社は、……に強みを持っており、今回の研究開発の基礎となる〇〇に関する技術や……を有している。

それを活かし、……を行い、また、……を行う。

(2) (株)B製作所（実施場所：〇〇市）

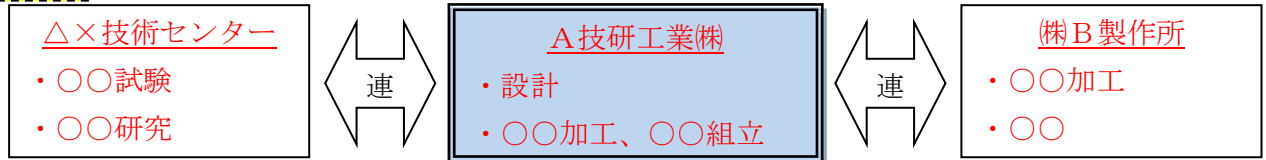
(株)B製作所は、……の経験を有していることから、……加工を行い、また、……を行う。

(3) △×技術センター（実施場所：△△市）

△×技術センターは、……を保有しており、また、今回の研究開発に必要な……の技術に知見を有するため、……の試験、……の研究を実施する。

それぞれの項目ごとに、事業の主な実施場所を記載してください。

概略図



② 事業実施方法について

【導入する機器・システムの種類とその機能、台数及び設置場所について】

導入する機器・システムの機能について、一般向けにわかりやすい説明としてください。
導入する機器・システムの設置場所は、愛知県内としてください。

《記載例》

導入する機器・システム	機能	台数	設置場所
自動〇〇装置	△△を加工するために必要となる……機能を有する装置。	1	本社技術研究所（〇〇市）
〇〇システム	……の精度向上のため、……を正確に測定できるシステム。	1	本社技術研究所（〇〇市）
●●●●	……		

【どのようなデータを収集し、検証・評価するのか。そこからどういう結論等が期待されるのか】

《記載例》※記載の参考一例であり、説明のため単純化しています。

素材の性質を把握したうえで、様々な加工条件において、工具の摩耗量や……などを検証する。
そこから、最適な加工条件を特定する。

3. 事業に要する経費

事業経費について

【事業資金の調達について（国など他補助金等の申請等状況についても記載）】

《記載例》

	2023 年度（円）	備考
自己資金	3, 000, 000	
借入金	2, 000, 000	○×銀行より融資
補助金	10, 000, 000	新あいち創造研究開発補助金
その他	0	
合計	15, 000, 000	

○現在申請中の他補助金等について

名称：○○○○年度補正「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」（経済産業省）

テーマ：○○○○の研究開発

申請額：10, 000, 000 円 採否決定予定時期：○○○○年○月頃

※上記事業採択の場合、本補助金を辞退。

◇本申請と同一、又は、類似の開発テーマについては、両方採択となった場合どちらの事業を活用するか記載してください。

【経費の内訳について】 別紙 3：経費内訳明細書のとおり。

4. 事業を行う意義、効果等（数値を用いて具体的に記載すること）

① 研究開発においては、どのような新規性を有するのか。実証実験、サービスロボット実用化においては、新規性のほか、モデル事業として、どのようなPR効果や波及効果を有するのか。
（※250 文字以内で記載してください。）

研究開発、実証実験において、今回開発する製品等や実証する取組等が従来のもものと比べ、どういった点で新規性を有するのか、客観的な項目や数値に基づき記載してください。
また、実証実験においては、PR 効果や波及効果（新たな実証実験が展開される等）も記載すること。

《記載例》当社の有する◎◎技術を確立することで、一般に市販されている既存の製品と比較して、………に関し○○%の品質向上、○○%のコスト低減………。

② どのような経済社会的な期待に応えることができると見込まれるのか。
（※250 文字以内で記載してください。）

《記載例》

今後成長が期待される次世代自動車分野においては、更なる燃費性能の向上のため、部品の軽量化が求められていることから、○○の軽量化により、部品メーカーからの期待に応えることができる。

また、環境への配慮から、今後次世代自動車への移行が進むことは確実であり、○○の軽量化により………が図られ、エンドユーザーの期待に応えることができる。

③ 自社における事業化の可能性、事業化した場合の効果（雇用面を含む）はどの程度であると見込まれるのか。（※表の部分を除き、250 文字以内で記載してください。）

《記載例》

試作品開発の終了後、部品メーカー等と共同で実証実験を行い、製品化に向けた課題の検証を行う。その後、その課題をもとに改良を重ね、製品の具体的な仕様を決める。

〇〇〇〇年度の量産化に向け、下表のようなスケジュールで行っていくこととする。

〇〇が製品化されると、現状の従業員数◇◇人、総売り上げ****千円が、〇〇〇〇年度には、従業員数□□人、総売り上げ★★★★千円になるものと見込んでいる。

また、本県での取引先も新たに**社増え、本県内での売上額は△△△千円になるものと見込んでいる。

2023 年度を基準とし、当補助事業による増加見込みを記載してください。

○補助事業終了後 5 年間の事業化スケジュール、当事業による売上げ・雇用増加見込み (2023 年度対比)

	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
工程	量産化検討	←→ 設備整備		←→ 量産化開始	←→
売上高（千円）	0	0	0	+10,000	+50,000
従業員数（人）	0	+1	+5	+10	+20

④ 上記③のほか、市場の新規開拓・拡大や地域資源の活用など、本県経済にどのような効果が見込まれるのか。（※250 文字以内で記載してください。）

《記載例》

〇〇の製品化が実現すれば、海外の部品メーカーよりも価格面、技術面で優位に立ち、・・・・・・の新規受注も期待できることから・・・・・・。

今回の補助事業では、次世代自動車分野に初参入となる県内中小企業とともに事業を進め、今後成長が期待できる次世代自動車分野への参入を促すことで、本県の中小企業の国際競争力の向上につながり、本県の産業空洞化を防ぐことになる。

⑤ その他、自社の優位性等、特にアピールする事項は何か。（※250 文字以内で記載してください。）

自社のアピールポイント等を記載してください。

県の認定計画等に基づいて実施する事業である場合は、その旨を記載してください。

《記載例》

今回の研究開発で用いる、当社の〇〇に関する△△技術は、他社にはない・・・・・・

当事業は、〇〇〇〇年〇月に承認された経営革新計画（テーマ：〇〇〇〇）に基づき、計画的に実施するものである。